

## 【介護シミュレーション結果】

令和4年11月11日

介護シミュレーションを受けていただき、ありがとうございました。

当事者：母一埼玉在住、マンションに一人暮らし

70歳台前半・現在、自立されて生活をされている。

家族が月一回ほど、自宅に行っ様子を見ています。

相談者の考え：介護が必要になっても、携わることができない。

施設入所が良いかと考えている。ただ費用面が心配。

### 【こちらからの提案】

費用面やご本人の様子から、親御さんの状況を聴いた限りでは、在宅で介護サービスを利用しながら、歳を重ねていくのがいいのかと考えます。

〇〇市には、介護サービス事業所も多数ありますので。

※地域により介護サービスの種類や数が異なります。

身体的な状態や認知症の症状によっては、在宅介護が難しい状況もゆくゆくは考えられる。  
(常時医療が必要な状態や認知症で徘徊などが起きて場合など、常に誰かがいないといけない状況になった場合)ので、その時は施設入所も検討が必要になるかと。

※介護保険の施設であれば、費用面も年金である程度可能かと思えます。

有料老人ホームでは、年金の範囲内では難しいのが実情です。

(添付資料を確認してください)

介護保険の施設サービスは3つあります。

①介護福祉施設：特別養護老人ホームのことです。

多床室とユニット型があります。ユニット型は個室で金額も高めになっています。

②介護保険施設：老人保健施設(老健)と言われ、病院から退院して自宅に帰る前に、リハビリをする施設です。

③療養型病床群(介護医療院)：以前の老人病院と言われるようなところです。医療が常時必要で特養入所が難しい方が対象となります。

①は入所待ちの方は多くすぐに入所できない可能性が高いです。

その為、とりあえず②③や有料老人ホーム、グループホームに入られる方が多いです。

施設により、質にかなりばらつきがあります。複数の施設を見学することをお勧めします。

#### 【活用できる制度面】

介護は、高額介護サービスの負担限度額があります。

医療は、高額療養費制度があります。

介護と医療を合わせたものが、高額介護合算療養費制度があります。

※あくまでも、介護保険サービスや医療保険での費用になるので、有料老人ホームの居室代や自費診療などは対象にならないので、注意してください。

#### 【今後のお母さまへの配慮】

・変化への気づき

##### 1) 身体状況の変化

・足腰が弱っていないか、食事を取れているかなどの確認。

⇒毎月、妹さんが会いに行かれていますので、一緒に外出などをして、歩行状態のや衣類、臭いなどの確認、本人が何を買われているのかのを見ると、日々、どんな生活をしているのかが見えてくるかと思います。

⇒衣類の乱れや臭いがするようになると、生活意欲が低下している可能性があります。

⇒息子さん連絡したり、家族で会いに行ったりすると気分が変わるかと思えます。

⇒スーパーなどで買うものをみて、偏りや量が少なくなっているようであれば、調理が大変になっていたり、健康面に少し配慮が必要になってくるかもしれません。

⇒冷凍食品など、温めるだけで食べられるものなどを勧めるのも一つの方法です。

##### 2) 認知症状が出ていないか。

・認知症状には、一時的なもの場合があります。

⇒どちらにしても、ちょっと話しのつじつまが合わないことがみられてきたら、さりげなく確認してみてください。

※つじつまが合わなくても、否定も肯定もせず受け容れ、安心してもらえるように意識してください。

※認知症の症状は、普段から関係が強い方に出やすい傾向があります。

たまにしか会わない方には、きちんとなしないと、という意識が働くので、普段以上にしっかりと見えたりします。

### 3) 一人暮らしの継続について

- ・一人暮らしを継続することが難しいケースは、身体的には元気で認知症が進み徘徊でどこかへ行ってしまおう方、火の不始末での火災の危険な方、医療面での課題がある方（医療面は余程でない限り、在宅で大丈夫になってきています）です。  
⇒何か心配事が出てきたら、ご相談ください。

#### 【その他のポイント】

##### ①今後のことを何かの機会に確認をしておく。

- ・どこで生活を続けたいか？
- ・延命処置を希望するのか？

※家族関係や本人の意識によるので、内容もナーバスな内容なので、タイミングをみて話しをしてください。

女性の70歳台前半は、まだまだ元気な年齢なので、年寄り扱いされたと感じる方もいるので。

タイミングをみてさりげなく意識をしてもらおうようにするとか、ご配慮を。

##### ②現時点でやっておくと良いこと。

- ・包括支援センターと連携を取り始めておく。  
一人暮らしの親御さんがいるので、時々見て欲しい。何かあったら連絡をもらえると助かるという感じで、相談してみると良いかと思います。
- ・普段の生活習慣や行先などを知っておくと、良いです。  
何か変化が気になった際に、確認がスムーズにできます。
- ・他のご家族についても、どのように考えてみてください。  
特に①は、どの方にも当てはまる重要な事なので。

皆さんにお伝えしているのは、介護は意外と急に必要になる可能性があること、期間がわからないこと。

以上が、介護シミュレーションをした結果です。

何か気になることがあれば、遠慮なくご相談ください。

フクシのなべさん  
渡邊秀雄